

平成 23 年度 兵庫県立小野高等学校 学校経営計画書及び学校評価報告書

1. ミッション：理想の人間像を追求し、生きる力と学ぶ力を身につけさせ、一人一人の進路を達成させる。

2. 学校教育目標

- (1) 校是である明・浄・直(蜻蛉魂)による校風の発揚
- (2) 進路目標達成に向けての学力養成
- (3) 国際的視野と他を思いやる心の育成
- (4) 健康な身体とたくましい精神の育成

3. 学校経営の重点

校是を礎とする基本的な生活習慣の確立、特に挨拶励行・時間厳守・清掃の徹底を指導の中心に据え、本校教育目標の実現を図る。なお、本校の歴史と伝統に甘えることなく、教育活動における「守成から創造への転換」を図る。

- (1) “教育は人なり”である。学校のレベルアップ、生徒の十分な育成を期するには教職員の資質の向上、意識の変革が不可欠である。熱意ある教育実践から生まれる真摯なる研修の積み重ねにより、生徒育成に燃える教員集団づくりを図る。
- (2) 時代の多様なニーズに応えるために、普通科・科学総合コース・商業科・国際経済科を持つ総合制高校の特色を生かす教育計画の展開に創意工夫をする。
- (3) 生徒の人生目標の達成を目指して主体的に学び続ける力を身につけるために学年・学級経営を強化し、一人一人の能力と個性を伸ばしながら自己実現を図る。
- (4) 生徒の育成に学校・家庭・地域社会が、それぞれの教育力を生かしながら連携を深める。さらに、学校評議員制度や評価システムを活用するなど、地域に開かれ、地域に信頼される学校づくりを一層推進する。
- (5) 地域の幼児児童生徒、高齢者、障害のある生徒との交流やボランティア活動等を通して、福祉の心や共に生きる心を育てる。

4. 学校経営の方針

指針 守りから攻めへの転換 プライドを持ち、格好いい仕事をする
良いものは継承し、改善すべきは改善する 前例にとらわれず、新たなことに挑戦する
教師としてのプライドを持つ 語るべき言葉を持つ

- (1) 目指すべき生徒像(人間像)
 - ・プライドを持つ生徒の育成
 - ・あこがれを持つ人間の育成
 - ・日本のリーダーとしての人材の育成
 - ・地域に、世界に貢献する人間の育成
- (2) 教育活動の基盤
 - ・明るく、礼儀正しく、活動的な生徒の育成
 - ・校是である「明浄直」の実践
 - ・生活3原則(挨拶の励行、時間厳守、清掃)の徹底と文武両道の追求
 - ・教科指導及び言語活動の充実
- (3) 方向性
 - ・とにかく動き、失敗を恐れないこと
 - ・狭い価値観に閉じこもらないこと
 - ・外へ目を向け、見聞を広げるとともに自己を見つめ直すこと
 - ・小ぢんまりとまとまってしまうこと
- (4) 行動指針(P S + 3 S)
 - ・Pride & Smart (誇りと格好良さ)
 - ・Simple Speedy Steady (単純、素早く、着実に)

5. 平成23年度重点事項(年度努力事項)

- (1) 学力の向上による進路保障 (授業力の向上・すべての生徒の学力の向上・進路実績の向上)
- (2) 豊かな人間性を持った生徒の育成 (規律ある態度の育成・ボランティア体験の実施・人権教育の充実)
- (3) 地域に信頼される学校づくり (情報発信の手段と内容の充実・教職員の意識の高揚・地域との連携)